

平成 25 年度就職支援講座「1 年生対象の意識付け講座」開催報告

医療介護福祉科

医療介護福祉科では、1 年生が具体的な介護福祉士像をイメージし、今後の現場実習や将来の就職の方向づけに役立たせるために、7 月 11 日（木）3 時限目に就職支援講座を開催しました。

演者は本科卒業 4 期生の萱谷典史氏（倉敷シルバーナーシングホーム・通所リハビリテーション 課長・支援相談員）にお願いし、同期生であり 4 月からは本科のスタッフに加わってくださっている助教の古畑先生にもお手伝いをお願いしました。

演題は、演者との打ち合わせで「介護福祉士職は、やっぱり、楽しいよ！！」と設定しましたが、講演に入る前に、前日に介護実習（臨地実習）Ⅰが終了したばかりの学生の本音（介護福祉士職のイメージ）をグループワーク（KJ 法）でまとめもらい、グループごとに発表してもらいました。

学生たちの発表を聞いた萱谷氏は、まず、ご自分が介護福祉士職を選んだ経緯、現在の職務、やりがい等を話され、さらによりよい職業人になるために努力していることを具体的に語りかけてくださいました。そして、後輩たちの参考になればとの思いから、様々な道を歩んでいる同期生の近況についても紹介してくださいました。

最後に、古畑助教も加われ、おふたりそれぞれが学生時代の様子、学生時代を振り返って後輩に伝えたいこと（仕事を楽しむための笑顔、生活支援技術全般の習得、医学をはじめとする専門知識、関係者との関わり方等の必要性）を中心に熱き思いを添えて伝えてくださいました。

閉会では、在学生 2 名から講演を聞いての感想とお礼の気持ちを伝えもらい、会を閉じました。

最後になりましたが、松丘会（川崎医療短期大学同窓会）のご支援により、このような機会を与えて頂きましたことに、感謝申し上げます。

文責 医療介護福祉科 副主任 三宅 妙子



KJ 法



介護福祉士に対するイメージで抽出
(1人10枚)



グループごとに同手続きをまとめる



総括